



モエク・カムイ 47

NO.

MAR 1997

●モエク・カムイとはアイヌ語で「エゾタヌキ」のことです。

あさひやまどうぶつえんニュース
ASAHIYAMA ZOO NEWS



近文生活館保育園
八谷 未来さん

もくじ

シリーズ「ぼくは動物大使」その8 ゴマフアザラシ 2.3

特集 これが「こども牧場」だ! 4.5

飼育研究レポート「30年を振り返って」 6

動物園事情・VETニュース 7

クイズ・できごと・おしらせ・編集後記 8

ぼくは、
動物大使
 その8 冬でも元気 **ゴマフアザラシ**

ゴマフアザラシ
Phoca largha

ベーリング海、チュコト海、オホーツク海から北海道近海、間宮海峡、プートル大帝湾、渤海から黄海北部に分布。
 食べ物は回遊魚、浅海域底生魚、大型プランクトンなど。

体重・体長

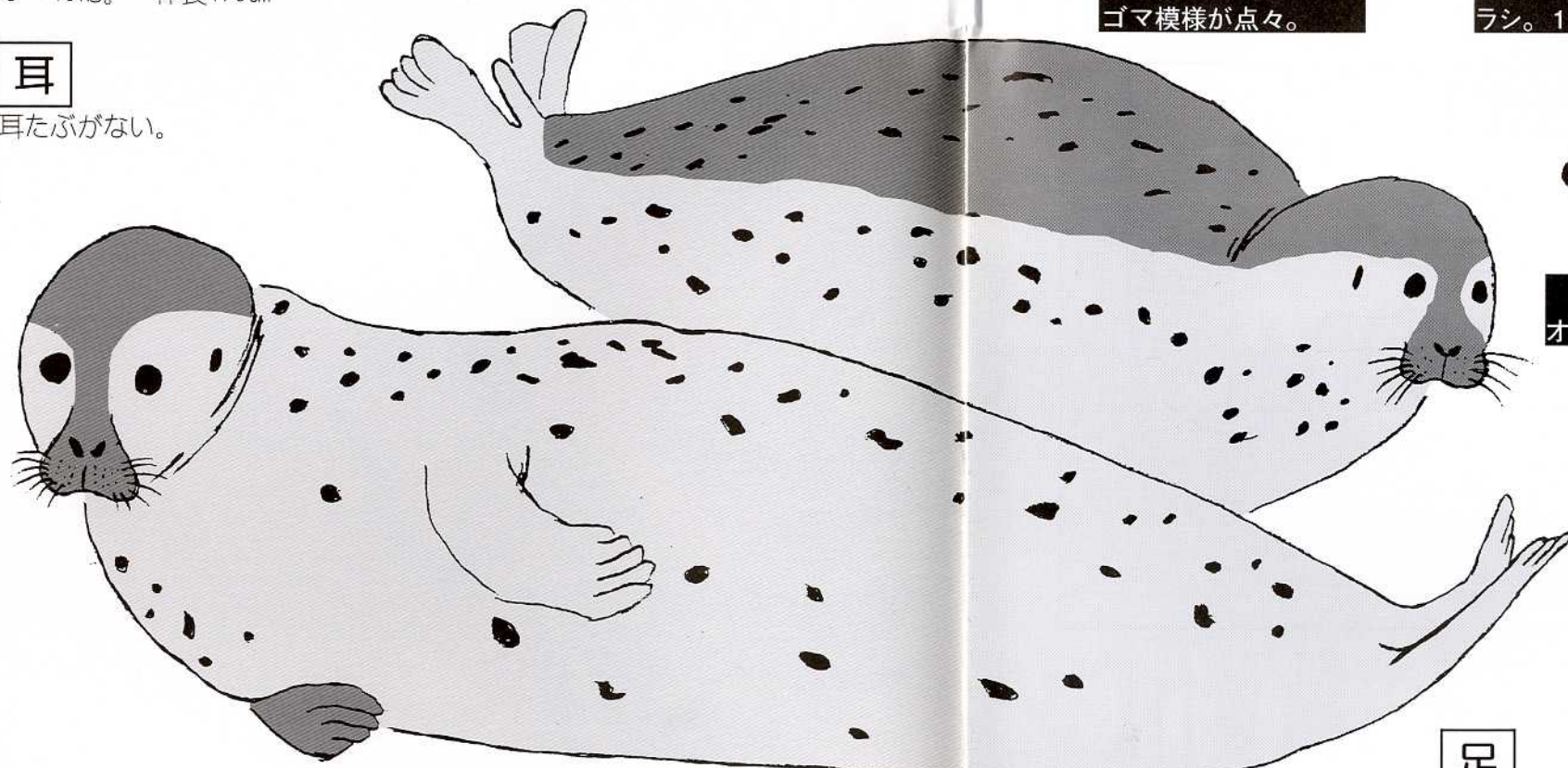
体重100kg前後。
 生まれたての赤ちゃんは9~10kg。 体長170cm

尾

短いけどある。

耳

耳たぶがない。



鼻

幅が広くて、鼻の穴を自由に閉じることができる。

手

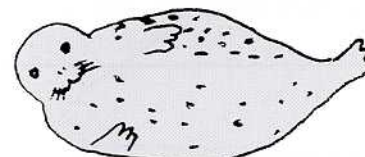
水中ではカジの役目をする。

おっぱい

乳頭は1対。母乳は乳脂肪分がなんと40%近くもある。

アザラシは北海道の動物だべさ

北海道近海で見られるアザラシ
 ゼニガタアザラシ以外は、すべて流氷と共に日本近海にやってきて、氷の上で出産します。



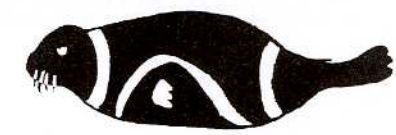
ゴマフアザラシ
 銀灰色の体に黒と白のゴマ模様が点々。



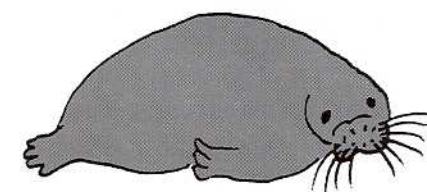
ゼニガタアザラシ
 日本の海岸で繁殖する唯一のアザラシ。1年中見ることができる。



ワモンアザラシ
 薄茶色の体に、白いリングの模様。



クラカケアザラシ
 オスは黒い体に白い帯状の模様

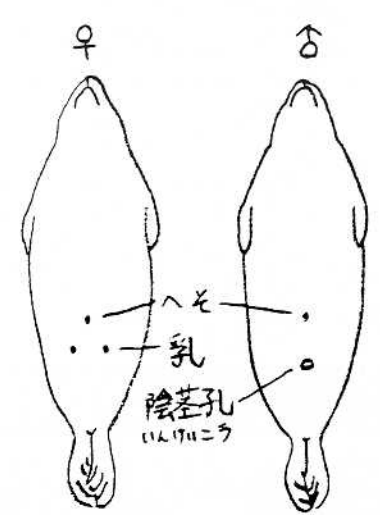


アゴヒゲアザラシ
 長いヒゲが特徴。

体

水の抵抗が少なくなるように滑らかな形である。

オスとメスの見分け方
 背泳ぎをしているときに観察すると解ります。



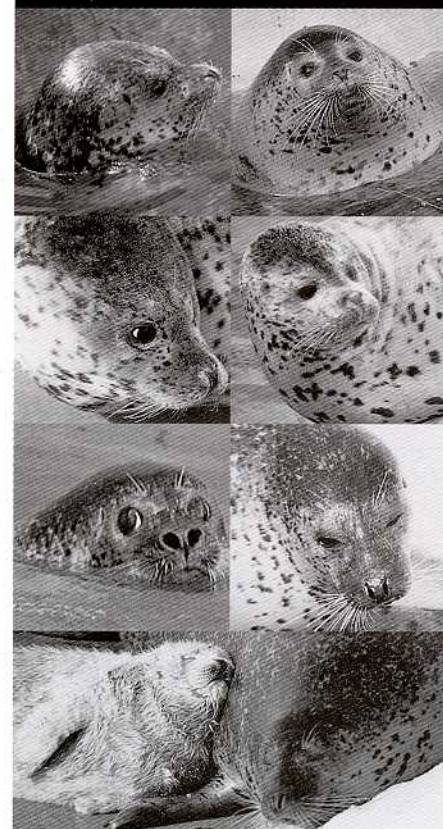
足

魚の尾びれみたい。泳ぐときは腰から足を横に振って泳ぐ。
 足を使って歩く(這う)ことは出来ない。

歩き方

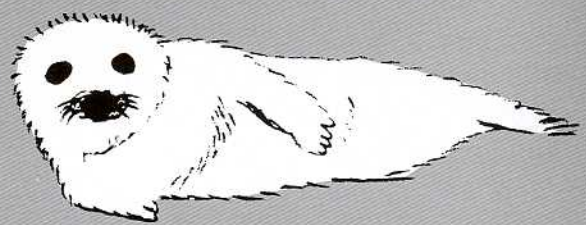
手で地面を引っかき、胴体をしゃくとり虫のように動かして、モソモソ歩く(這う)。

旭山動物園のゴマちゃん達



真っ白なゴマちゃん

ゴマフアザラシの赤ちゃんは、生後3週間くらいの間だけ真っ白です。白い毛は2~3日の間で抜け落ちて「ごまふ模様」になってしまいます。そしてこの時期が離乳(乳離れ)期です。生まれたとき約10kgの体重がこの時25kgくらいになっています。旭山動物園での出産時期はだいたい3月です。4月末の開園の頃には「ごまふ模様」の赤ちゃんです。真っ白なゴマちゃんを見れるのは飼育係の特権です。



人工哺育

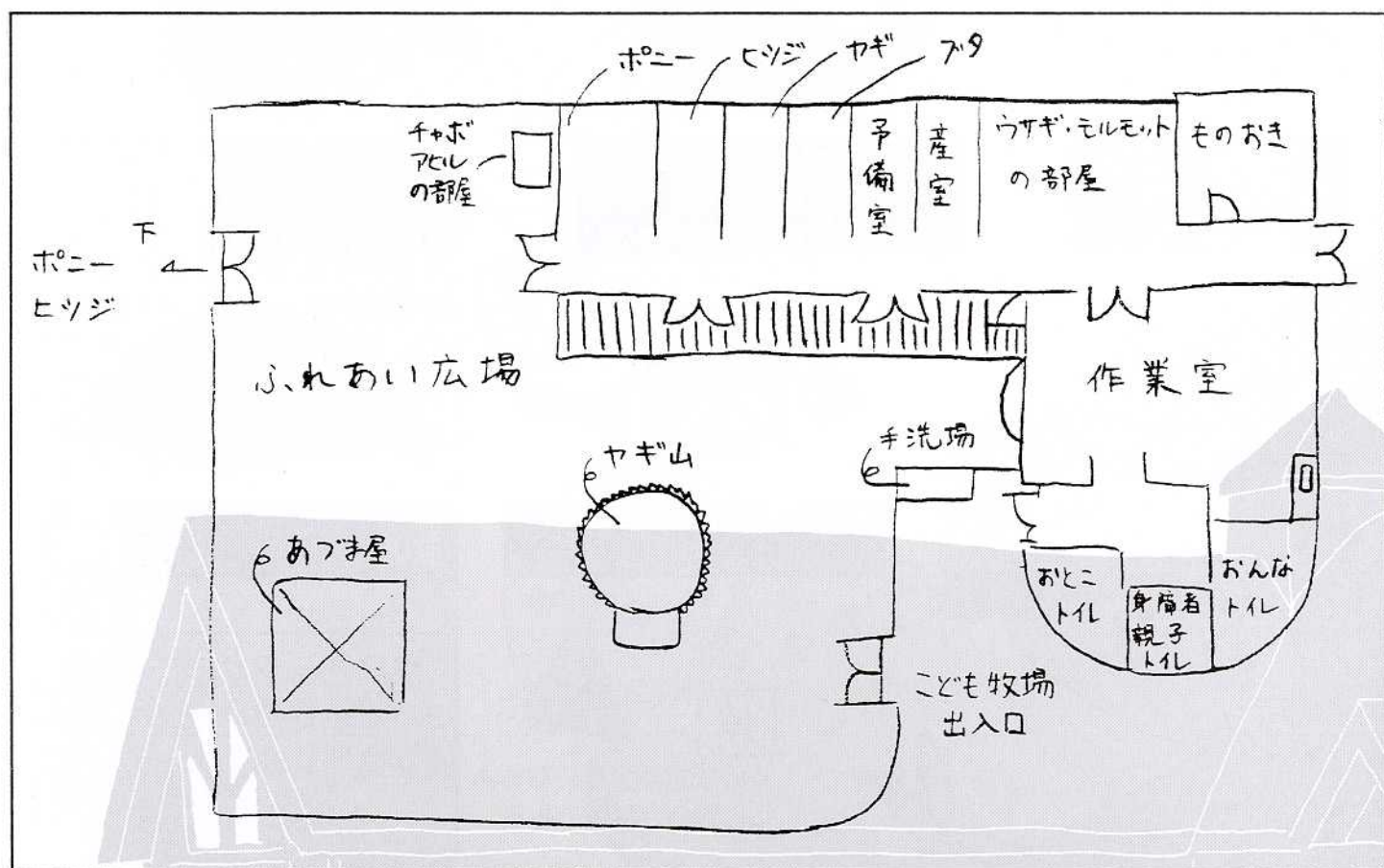
旭山動物園にいるゴマフアザラシ唯一の大人のオス「ウイ」。実は彼の母親は生後間もなく死亡して、ウイは私たち飼育係が「人工哺育」で育てたのです。嫌がる彼を押さえつけて、ゴムのチューブ(カテーテル)を口から胃まで入れて脂肪分が40%近くもあるアザラシ用ミルクを飲ませました。1週間くらいで歯が生えてきてチューブが穴だらけになりミルクを飲ませることができなくなると、餌のホッケにミルクを注射して、ホッケごと丸飲みさせました。お腹は空くけど、無理矢理口をこじ開けられるのが嫌なものだから、ウイは私たちを見つくとプールの中に逃げるようになりました。こんな時はパンツ丁で、まだ冷たいプールに入りウイを捕まえました。そんな彼が今では立派なお父さんです。それにしても「寒中水泳」はもうこりごりです。



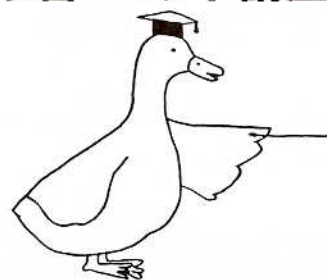
アザラシの食事
 旭山動物園ではホッケ45kg(1頭当たり約6kg)を一日一回与えています。

こども牧場 平成9年度待望のオープン

ここには、家畜やペット(コンパニオンアニマル)の仲間がたくさんいるよ!
はやくみんなと仲良くなりなりたいな! オットその前に少しお勉強しよう!



アヒルの「ガー」の家畜・ペット講座



家畜・ペットって何だろう?

人間のまわりには、イヌ、ネコ、ウマ、ウシ、ヒツジ、ヤギ、ブタ、ウサギそしてニワトリなどたくさんの家畜と呼ばれる動物たちがいるよね。たとえば警察犬や牧羊犬、荷物を運んだり、畑を耕す農耕馬、牛乳を搾るための牛。それに食肉用の牛や豚、ニワトリ。こんなふうに人間が自分たちの生活に役立てるために改良した動物を「家畜」って言うんだ。

最近は家畜の仲間でも「ペット」と呼ばれる、人間が仲良く一緒に生活するために飼われている動物が増えているらしいよ。そういうほくたちアヒルも食肉用に家畜化されたんだけど、近ごろじゃペットとして飼われていることが多いんだよね。

アヒルは昔からアヒル?!

人間のまわりにはたくさんの家畜がいて、それがあたりまえって思っていない?

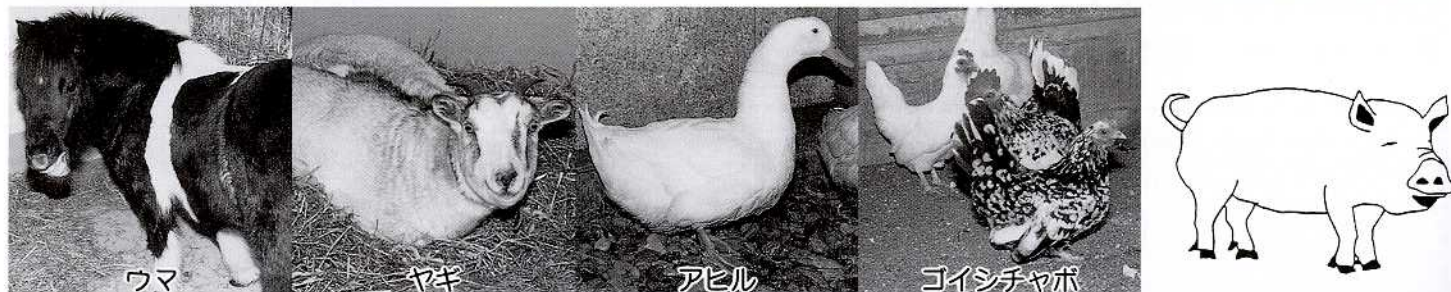
でも、どんな家畜も昔は自然の中で人間とは関係なく生活をしてたんだ。だから、すべての家畜には原種って言うのがあるんだよ。「原種」って言うのは人間が飼いやすいように改良する前の、野生で生活していたときの動物のことなんだ。ほくたちアヒルの原種はマガモなんだよ。ブタの「ピーちゃん」の原種はなんだと思う?なんとイノシシなんだ! 他家畜の原種も調べてみたよ。

家畜とその原種

家畜化された動物	その原種
イヌ	オオカミ
ネコ	リビアネコ
フェレット	ヨーロッパケナガイタチ
ウマ	モウコノウマ
ウシ	オーロック
ブタ	イノシシ
ヒツジ	アルガリ・ムフロン
ヤギ	野生ヤギ
ウサギ	アナウサギ
ラット	ドブネズミ
マウス	ハツカネズミ
ニワトリ	セキショクヤケイ
アヒル	マガモ

家畜化され始めたのは何千年も昔のことなので原種については色々な説があります。ここでは一般的な説を紹介しました。

こども牧場動物紹介 — たくさんいるから、全部は紹介しきれないんだ!



「こども牧場」でのお約束!



動物たちにおかしや紙をあげないでね!



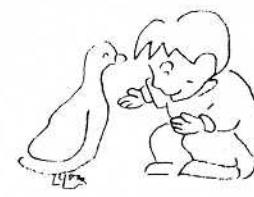
飼育係の言うことはよくきいてね!



走りまわらないでね!



大きな声を出さないでね!
動物たちがびっくりするから



動物たちにはやさしくしてね!



動物たちにさわった後は必ず手を洗ってね!

30年を振り返って

昭和42年、旭山動物園で飼育係になって長いようでいて短かった30年でした。当時の飼育動物は74種494点でした。昭和43年のこの日は、天気も良く朝8時30分には開園を待つ人や車で大混乱して、開園を40分も早めたことが記憶にあります。来園された方々の喜々とした表情が今でも忘れられません。

30年を振り返ると、たくさんのことが思い出されますが、その中でも特に印象に残っていることが3つあります。

まず第一に、昭和48年に日ソ親善大使としてやってきたシベリアトナカイのことです。家畜化されたトナカイと違い体格も大きく、風格がありました。このトナカイにそりを引かせることはできないかということになり、オス4頭を調教することになりました。その年の秋から冬にかけて約半年間調教し、2月の第15回旭川冬まつりが開催された常盤公園で、トナカイのひく赤いそりにミス雪の女王や子どもたちをのせてしゃんしゃんと鈴の音を鳴らしながら走ったことがありました。



(S50・2・8 道新より)



次はマルミミソウです。昭和55年夏、3才のマルミミソウがやってきました。肩までの高さは1m40cmくらいで、鼻も短くまだまだ赤ちゃんでした。私は、彼女にナナという名前をつけました。寒がりやで冬になると通路のストーブの前から離れませんでした。翌年の春から調教を始めました。「すわれ」、「ねろ」、「足あげ」など次々と覚えました。冬になる頃には私を背に乗せて、園内を散歩できるまでになりました。日課となった雪中散歩は耐寒訓練と運動のため1日2時間近く行いました。外で遊ぶことが好きで、雪にも慣れたのですが、「しもやけ」には困りました。昭和57年の開園からは、子どもたちを背中に乗せて歩くようになりました。

小さかったナナももう二十歳になりました。そろそろ婿をとわが子のごとくのように落ち着かない気分です。



最後は、平成7年に日本で初めてコガモ、スズガモの人工繁殖に成功したことです。5年前にもシマアジというカモの仲間をやはり日本で初めて人工繁殖させたのですが、オオタカが雛を育てていた部屋のガラス窓を突き破り雛を食べてしまいました。この時の悔しさをバネにして、コガモ、スズガモの繁殖に取り組みました。日本動物園水族館協会から繁殖賞が届けられ、飼育係にとって最高の名誉でした。

退職と言っても、まだまだ元気です。動物一筋で来た私ですから、これからも動物園に関わっていきたくて考えています。

重油流出事故と動物園

1月2日、島根県隠岐島北北東約106kmの地点でロシア船ナホトカ号の船首が折損し、後部は沈没、船首部は漂流した。破損したタンクからは5千キロリットルもの重油が流れ出し、8日には沿岸に漂着した。岸に打ち寄せられた真っ黒な重油の固まりと素手で戦っている多くのボランティアの姿に、自分も何かできないのかと思われた人もたくさんいると思う。

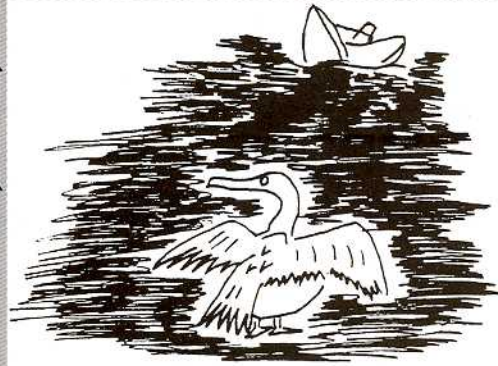
重油による汚染は、人の生活ばかりでなく自然界にも大きな打撃を与える。その被害は我々の想像を絶するものであろう。重油による汚染といえば湾岸戦争の際、油にまみれた海鳥の痛ましい姿を覚えている方も多いと思う。今回の事故でも、ざっと3万羽の海鳥が被害を受けたものと推定されている。

海鳥保護の一報が入り、直ちに神戸市立王子動物園の獣医師二人が福井県の保護収容現場へ駆けつけ、その後も多くの獣医師や飼育係が救護活動に参加した。その派遣調整には(社)日本動物園水族館協会の自然保護部員2名があたり、連続32日間に渡り、14動物園の職員、延べ147人の人たちが救護活動を行ったのである。日本の動物園が一体となって野生動物の救護にあたったことは初めてのことであり、大変大きな意義のある活動であったと思う。

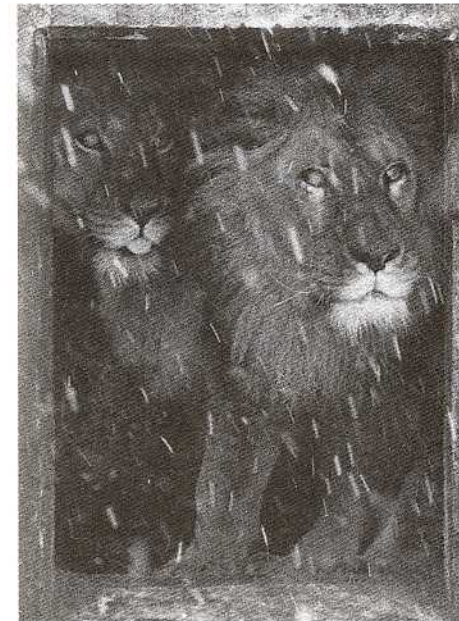
そもそも、動物園の自然保護を論ずる場合、教育活動を通しての啓蒙とか増殖による種の保存事業を意味する傾向にある。しかしながら、それらの活動は、地球的な活動に視点を置くばかりで、足許での活動が具体的に見えてくるものではない。

今回の対応もすべての動物園の足並みが揃っていたとは言い切れない。実際、協会にはこのような場合の連絡網もないし、調整部署も確定されていない。「本当に動物園がしなければならない仕事なのか」さえ明確でないとっても過言ではない。

そのような環境の中で、多くの動物園技術者が現場に駆けつけ、力を尽くしたことに、今後の動物園のあり方を見る思いがした。動物園は、地元の野生動物保護や環境保全に積極的に関わりを持つべきだと思うのだが…。



動物病院VETニュース



去る1月10日にメスライオンのララが、続いて、その8日後にオスのベルが相次いで死亡しました。彼らは夫婦のように見えますが、実は同じ日(1980.11.2)に円山動物園で生まれた兄妹でした。そんな訳もあって、メスのララには子供ができないような処置を施していました。ライオンの寿命はおよそ15年と言われていますが、彼らは16年間もの間、旭山のお客様を楽しませてくれました。

ララは昨年中からずっと体調が優れず、意識を失って倒れるようなこともありましたが、それ以来、計9回にわたり、麻酔をしての検査や治療を続けてきましたが、徐々に衰弱していきました。

一方、ベルの死は全く突然でした。死因は急性の心不全です。長年連れ添った妹の死に、相当なショックをうけていたことと思います。

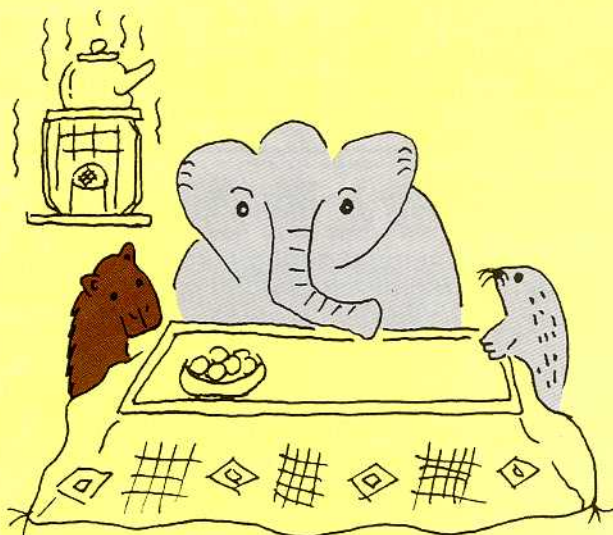
こういうことは、人間のみならず、動物の世界でも多々あることのようにです。そういえば、あんなに元気だったゴリラのマリが突然死亡したのも、夫のゴンタがエキノコックスで死亡してから1年と経たない間のことでした。

特定のパートナーを失うと、気が抜けたり不安がったりする。これは人間が感じる“愛”と同じ感情ですね。動物園の動物たちを見ていると、動物も愛情や友情を感じて生活しているのかも知れないな、と思うことがあります。

クイズ

旭山動物園は、冬季間は閉園して
ます。動物たちの中には、寒さの問題
などから、雪が降る前に暖かい部
屋へ引っ越しをするものもいます。
そこで次の動物のうち開園期間中と
冬の閉園期間中とは、飼育されて
いる場所が違うもの、つまり冬にな
ると引っ越しをしている動物はどれ
でしょう。

1. ゴマフアザラシ
2. カピバラ
3. マルミミゾウ

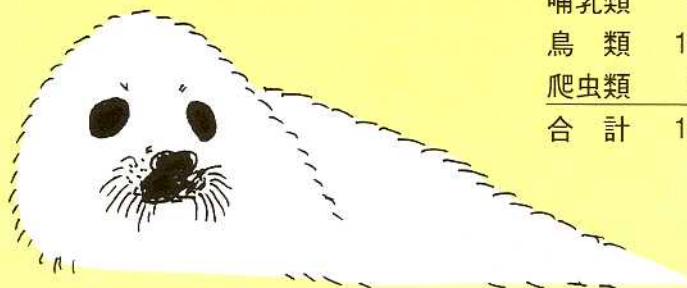


正解者の中から抽選で3名の方に旭山動物園特製エゾシカの角キーホルダーが当たります。

応募方法はハガキに答と住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、旭山動物園モユク・カムイ係までお送りください。
応募×切 1997年4月25日

できごと

- 1月中旬 フラミンゴのみずかき
角化、原因分らず
消毒・抗生剤投与
- 1月下旬 フラミンゴ、症状改善せず
足を湿らせるため浅い
プールを作る
- 1月26日 冬の動物園観察会
- 2月上旬 フラミンゴ、症状改善
- 2月16日 冬の動物園観察会
- 2月23日 トラ「濃姫」爪切り・
ワクチン撮種



飼育動物数

(2月28日現在)

哺乳類	44種	184点
鳥類	100種	479点
爬虫類	10種	36点
合計	154種	699点

お知らせ

◎モユク・カムイの申し込み方法

1年分の送料として130円切手4枚を同封して、旭川市旭山動物園モユク・カムイ係までお申し込みください。

編集後記

今年度第4号がやっとできました。年4回の発行、どうにか守ることができました。定期愛読してくださっている方には、ご迷惑をおかけしました。新年度からは4・7・10・1月の発行をお約束いたします。これからも末永くお付き合いください。心からご愛読に感謝して、平成8年度を終わりたいと思います。ありがとうございました。

モユク・カムイ No.47 平成9年3月31日

発行所 旭川市旭山動物園 〒078 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104
 発行 小菅正夫
 編集委員 坂東元・中田真一・松島守・辻松淳二
 印刷 谷川印刷株式会社 〒070 旭川市旭町1条4丁目 ☎0166-51-0653